電子楽器の作品紹介2022

石垣良

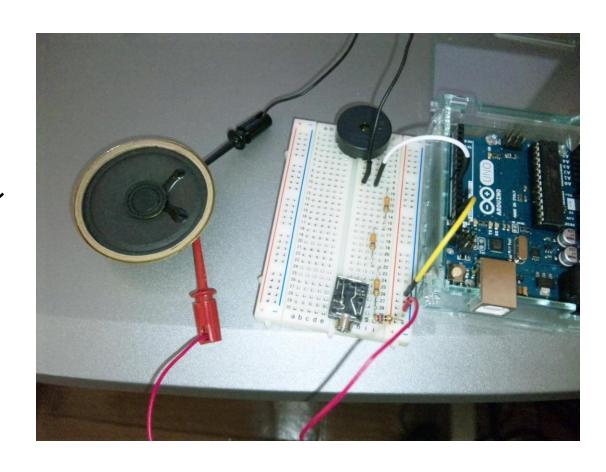
https://risgk.github.io/

2022年9月1日 SWEST24 EmbLT

第1世代

#1 Digital Synth VRA8(2014年)

- Maker Faireを見学して電子工作を始めたくなり、派遣先で「ものづくりクラブ」に参加したことが開発のキッカケ
- ピコピコ音を出そうとしていたが、IIRフィルターでシンセサイザーを実現できることに気付く
- Arduinoだけで音を合成する、 Virtual Analog Synthesizer
- VA-8という名前を考えていたが、名前衝突しそうなのでRを追加



#2 Digital Synth WRA32(2014年)

- Web Audio APIを使った、ブラウザで動くシンセサイザー
- VRA8制御用のWebアプリ (MIDIコントローラー)を拡張 したもの
- フィルター用のスライダーで音 色を変えると、音が止まってし まう(VRA8も同様)
- もうメンテしていないが、今ならもっと良いものが作れる気がする

Digital Synth WRA32 5.1.1

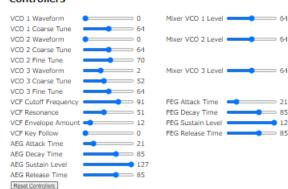
Virtual Analog Synthesizer Web App

Synth Settings



We recommend Google Chrome, which implements Web MIDI AP

Controllers



Software Keyboard



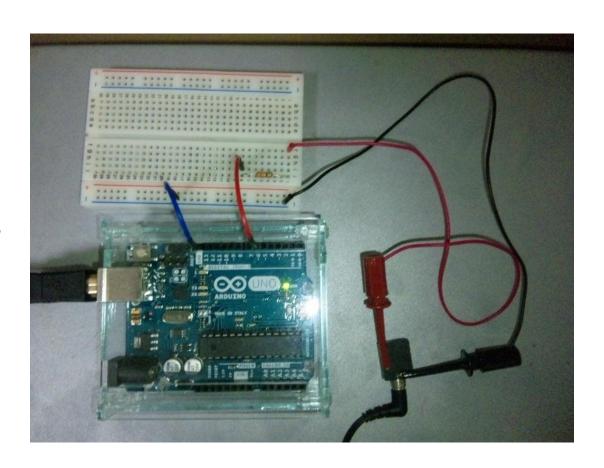
About

Made by ISGK Instruments (View on GitHub)

第2世代

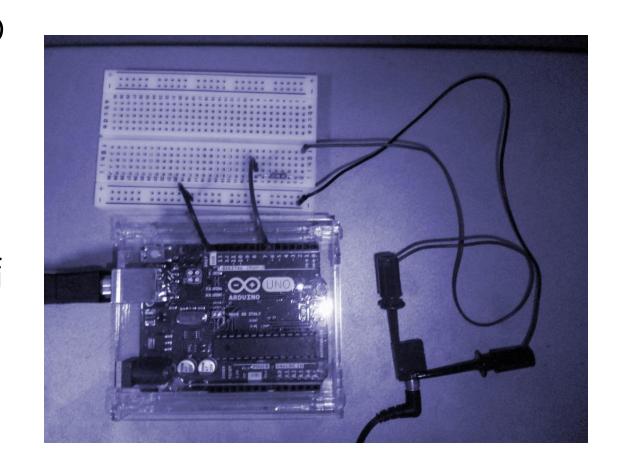
#3 Digital Synth VRA8-M(2015年)

- Monophonic SynthesizerのM (ノコギリ波と逆ノコギリ波を 重ねたイメージも)
- 「無印」で関数がインライン展開されていなかったことに気付いたことが開発のキッカケ? (Arduinoではalways_inline指定が必要)
- 「ものづくりクラブ」メンバー として、Maker Faireに初出展
- なかなか評判が良かったので、 ちょっと調子に乗る



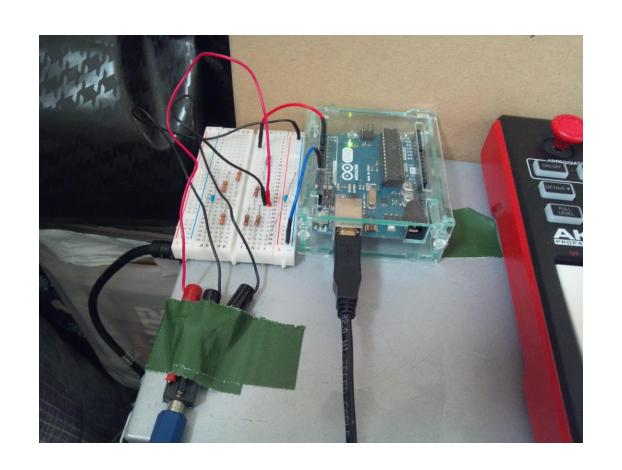
#4 Digital Synth VRA8-X(2015年)

- Experimental Synthesizerの X (シリーズの終わりを考え ていたのかも?)
- ・浜松市のイベントに間に合わせるように開発
- 色々な波形合成の「実験台」 にしようと考えていたが、結 局メンテせず
- ちょっと完成度が低いかも...
- シンボルカラーは「青」



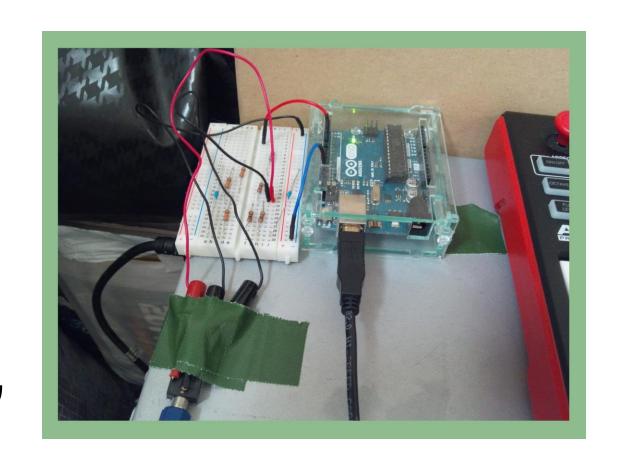
#5 Digital Synth VRA8-P(2016年)

- Pseudo Polyphonic SynthesizerのP
- 3和音を出せるが、音質を変えるフィルターが1個なので「疑似」ポリフォニック(パラフォニックとも言う)
- 派遣先が変わったので「ものづくりクラブ」は卒業、この年からずっと個人サークルでMaker Faire Tokyoに出展
- SWEST自由工作発表(初回)



#6 Digital Synth VRA8-Px(2017年)

- **P**araphonic Synthesizerの**P**にプラス(x)
- 会社のマイコン研修の素材に Arduinoを使ってみたら、それ までTimerO割り込みを無効に していなかったことに気付く
- **noInterrupts()** を呼んだら、 CPU使用率が激減、かつ安定
- ・それまでLED点灯でオーバー ロード判定していたが、この作 品からCPU使用率をMIDIデータ でデバッグ出力(計測重要!)



第3世代

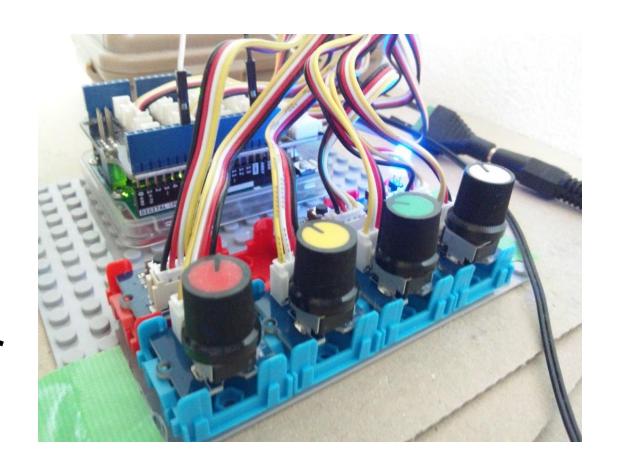
#7 Digital Synth VRA8-N(2018年)

- Monophonic SynthesizerのN (Mの次とか、ノコギリ波のイ メージもある)
- サンプリング周波数が15.625kHzから31.25 kHzに倍増(音質が大幅アップ!)
- もちろん、CPU使用率も倍増したので、頑張って「無駄」を省いて効率化
- SWEST20 インタラクティブ セッション ベストプロダクト賞 ブロンズ



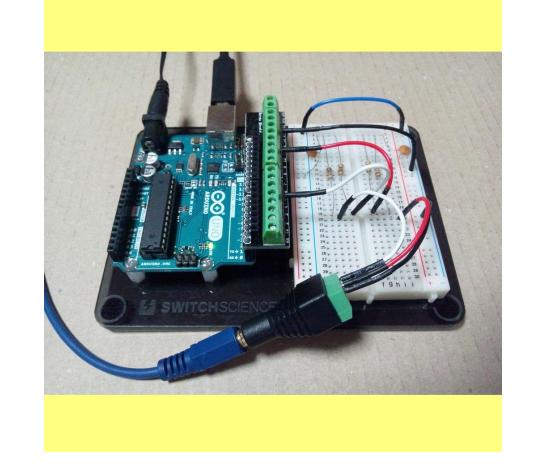
#7 (その2) VRA8-N mode-VC (2019年)

- VRA8-N v2を電圧制御 (Voltage Control) 可能に したモードで、例えば可変抵 抗で演奏可能
- モジュラー・シンセサイザー とも接続可能
- SWEST21 インタラクティブ セッション ベストプロダクト 賞 シルバー



#8 Digital Synth VRA8-Q(2020年)

- **Q**uadraphonic Synthesizerの**Q** (**P**の次のイメージもある)
- サンプリング周波数:31.25 kHz
- 4和音対応(パラフォニック)
- ステレオ・コーラス・エフェクター内蔵(コーラス用のショート・ディレイ・バッファのサイズは512 Byte)
- SWEST22 インタラクティブ セッションで発表



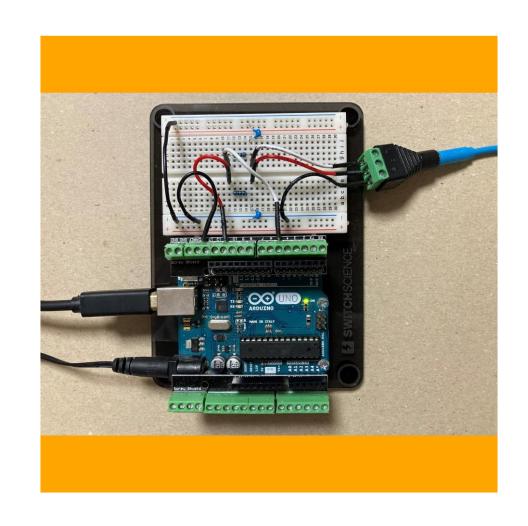
#9 pico_synth (2021年) #9.1 pico_synth_ex (2021年)

- 『Interface 2021年8月号』のラズベリー・パイPico特集記事のために試作したシンセサイザと、それを拡張した4和音対応(ポリフォニック)シンセサイザ
- 前者は、1オシレータ + 1フィルタ + 1 アンプというシンプルな構成
- 後者は、SWEST23 インタラクティブ セッション ベストプロダクト賞 ゴールド (しかし、v0.1止まり)
- ・ラズパイPicoは、今後本格的に使いたい



#10 Digital Synth VRA8-U(2022年)

- VRA8シリーズの集大成
- 単音シンセ「VRA8-N」と4 和音シンセ「VRA8-Q」を合 体させたような仕様
- Monophonic/Paraphonic
 United Synthesizer
- パルス波形では、パルス幅変調(PWM)にも対応
- SWEST24 インタラクティブ セッションで発表



To be continued...